

クラス番号	622	担当教員名	中村 強士
テーマ	現代社会における保育・子育て支援を考える		
著書・論文	【著書】	『戦後保育政策のあゆみと保育のゆくえ』新読書社、2009年 『保育・子育て政策づくり入門』（編著）自治体研究社、2010年 『岐路に立つ保育園』（編著）かもがわ出版、2009年 『新・子どもの問題ケースブック』（編著）中央法規出版、2004年	
研究課題等	【研究課題】	1. 保育・子育て支援政策のあり方に関する研究 2. 保育者・学童保育指導員の専門性（特に調査と実践記録）に関する研究 3. 保育所保育労働と保育ソーシャルワークに関する研究	

ゼミナール概要

キーワード：保育問題、子育て支援、子どもの貧困、子どもの権利

目的：

共働き家庭やひとり親家庭が増加する現代社会において、保育所は必要不可欠です。ところが都市部では待機児童が増加し、保育水準の低い認可外保育所もその受け皿となっています。その一方で、保育所は地域の子育て支援拠点としての役割を担っています。保育所は、「保育に欠ける」乳幼児だけでなく地域・家庭で育つ乳幼児に対しても、園庭開放や一時保育などの取り組みを通じて積極的な役割を果たしてきました。もっとも子育て支援は保育所だけでなく保健所や児童館、子育て広場など広範囲にわたって取り組まれています。

しかし、子どもの貧困率が15.7%（2009年）と公表されたことから考えても、虐待に結びつきかねない貧困・生活苦による育児困難がいまなお広がっているに違いありません。

本ゼミの目的は、子どもの最善の利益を保障するために、乳幼児や学齢児、その家族にどんな保育や子育て支援が必要なのかを考えることにあります。

目標：

すべての学生にとって保育・子育ては近い将来の関心事になりうる身近なテーマといえます。その意味では当事者の立場に立つことが想像しやすいはずですが、本ゼミは、子どもやその家族の当事者性を大事にした保育・福祉実践者になることを目指します。

計画（内容・方法等）：

- 3年次前期：テキスト中心の学習を通して保育・子育て支援をめぐる現状と基礎知識を修得します。（今年度学んだテーマ：「働く親が求める保育園」「子どもと遊び」「欧米と日本の保育環境」「幼保一元化」「認可外保育所」「早期教育」）
- 3年次後期：ゼミ生の興味関心に合わせてグループをつくり、事前学習をふまえてフィールドワークを実施し報告書を作成します。後半は卒論計画書の作成と指導を行います。
- 前・後期を通して、数回にわたる課題レポートを作成し添削指導を行います。
- 4年次：個々の関心に基づく卒業論文の執筆を進め、添削指導により、秋には卒業論文を完成させます。以降は社会福祉士の受験勉強にあてます。
- 現場職員の研究会や学習交流会（全国規模・県内規模）、ボランティア活動を推奨します。

使用テキスト：

全国保育団体連絡会・保育研究所編『2011保育白書』ひとなる書房、2011年（予定）。
参考文献・資料等は随時紹介・配布します。

担当教員からのメッセージ



子ども・子育てをめぐる現状はますます深刻になっています。そんな現状を打開したい、子どもの笑顔が輝く社会をつくりたいと心から願う学生を希望します。また、こうした願いを研究・討論・コンパなどを通して仲間とともに共有したいと願う学生を希望します。

本ゼミを希望する学生は「エントリーシート」に、①現代の子どもをめぐる問題についての考え、②本ゼミを希望する理由、③目指す将来像、の以上3点を記入してください。また、保育士と社会福祉士のダブル資格取得を目指す積極的な学生を歓迎します。

2012年3月に次年度3・4年生を対象に春合宿を行う予定です。詳細については所属ゼミが決定後、学籍番号メールアドレスにメールします。